

Roland

GUITAR AMPLIFIER

JAZZ CHORUS JC-55 JC-77

オーナーズ・マニュアル



(写真はJC-77)

●お使いになる前に

- 100Vの電源電圧でお使いください。
- 外国で使われる場合は、まえもってローランド・サービスにご相談ください。

●特長

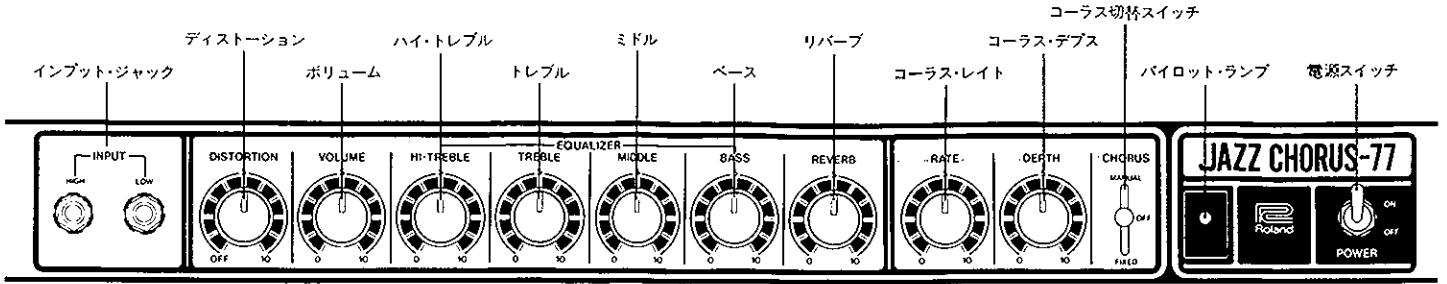
- 新開発ヘビー・デューティー・スピーカー搭載。
- 4バンド・イコライザーを装備。微妙な音色設定も自由自在です。(JC-77)
- オリジナル・コーラス回路とツイン・パワー・アンプの組み合わせにより、空間合成特有の重厚で拡がりのあるコーラス効果が得られます。
- キャビネット・エッジ部に硬質ファイバー、コーナー部にはP.P.プロテクターと重量感のあるガードを採用しています。
- 移動に便利な着脱式キャスターを装備。(JC-77)

●注意

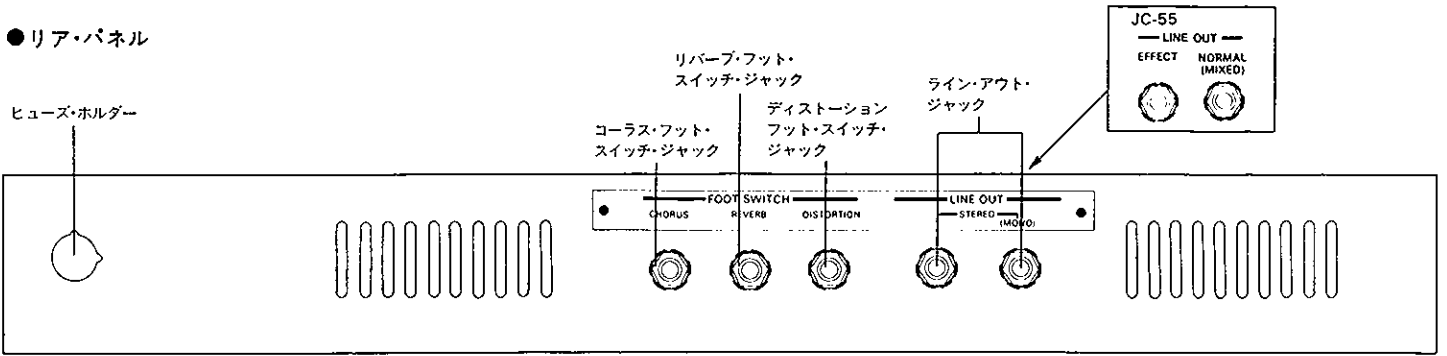
- アンプや楽器の近くにネオン・蛍光灯などがあると雑音の原因になりますので位置を変えてください。またギターの向きを変えると雑音が少なくなることがあります。
- リバーブ音の音量が大きい時、周囲の状況により、雑音が発生することがあります。リバーブ・ツマミを下げるか、アンプの設置場所を変えてください。
- 楽器をアンプにつなぐときは楽器側のシールド・プラグを先に接続しアンプ側をあとで入れてください。切り離す時は逆にアンプ側から先に抜きます。
- アンプのボリュームを大きくしたままで電源プラグを抜き差しするとスピーカーに大きな負担がかかり、破損する恐れがあります。これらの操作はボリュームを(0)にしてから行ってください。
- アンプには強い衝撃を与えないでください。また作動中にアンプを移動することは避けてください。
- 湿気や塵のあるところでの使用は故障の原因になります。
- アンプが汚れた時は中性洗剤で拭き取ってください。
※シンナー類の使用は避けてください。
- ヒューズ交換の際は必ず当社規定のものを使用してください。

●各部の名称

●フロント・パネル(図はJC-77のもので、JC-55にはHI-TREBLEのつまみはありません。)



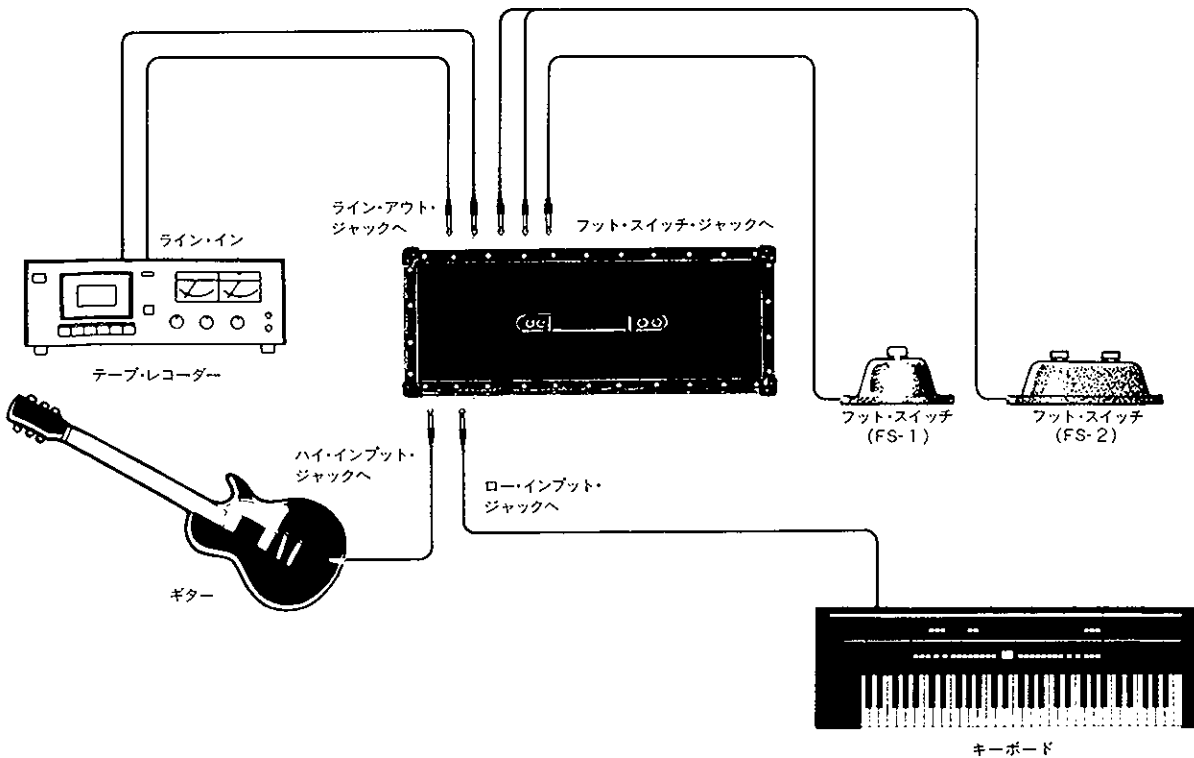
●リア・パネル



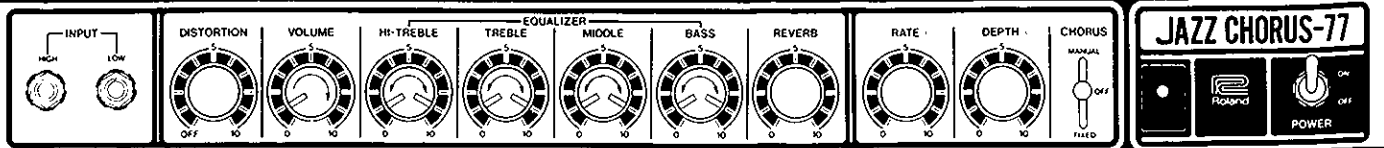
●接続のしかた

＊ライン・アウト・ジャックはギター・アンプの増設、PAミキサーおよび各種録音機器への送り出しに使用します。通常MONO(MIXED)に接続しますが、コーラス効果を最大限に活用する場合は2つのジャックに同時に接続し、ステレオとして使用してください。

＊キーボードなど出力の大きな楽器を使用する場合は、通常ロー・インプット・ジャックに接続します。

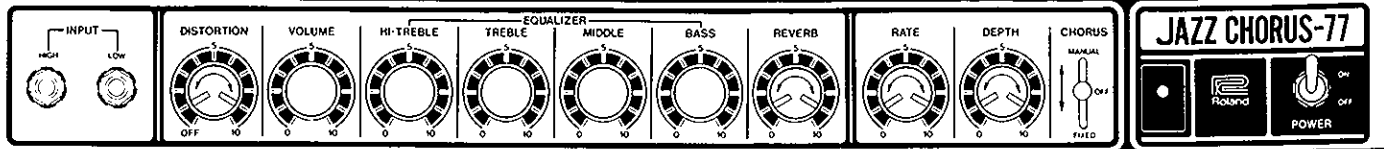


●操作方法 (パネル図はJC-77です。JC-55にはHI-TREBLEのつまみはありません。)



まず図の様にツマミおよびスイッチをセットし、ギターを演奏しながらボリューム、イコライザー (ハイ・トレブル、トレブル、ミドル、ベ

ース) で適当な音色にセットします。



・ディストーション

ディストーション・ツマミでディストーションのかかり具合を調節します。右(\)にまわすほどよりハードなディストーション・サウンドが得られます。

※同時に全体の音量も上がりますので、このツマミでディストーション・レベルを決めた後、ボリューム・ツマミの操作を繰り返してください。

※「OFF」の状態ではディストーション回路は動作しません。

・リバーブ

リバーブ・ツマミで残響音のレベルを調節します。

・コーラス

JCオリジナル・コーラス効果を楽しむ場合は、コーラス切り換えスイッチをFIXEDの位置にセットします。

※この時、レイト、デプス・ツマミは働きません。

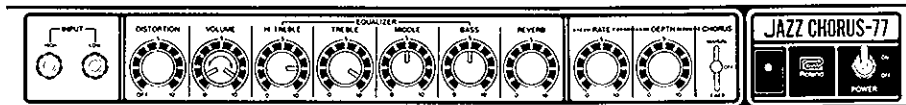
コーラス効果のかかり具合を自由に設定したい時は、コーラス切り換えスイッチをMANUALの位置にセットし、レイト・ツマミで変化スピードを、デプス・ツマミで深さをセットします。

※デプス・ツマミが(0)の位置にある場合、レイト・ツマミは働きません。

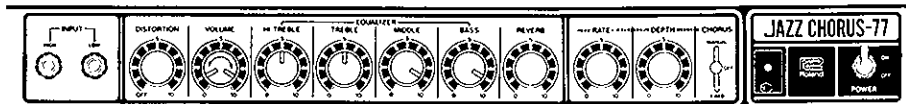
●イコライザーのセッティング (パネル図はJC-77です。JC-55にはHI-TREBLEのつまみはありません。)

JCではイコライザーのコントロールにより、楽器の特性に応じた音づくりが容易に行なえます。

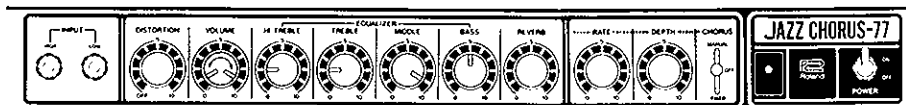
●ハム・バック系の場合 (高域に比べて中低域の強いギター)



●シングル・コイル系の場合 (中低域に比べて高域の強いギター)

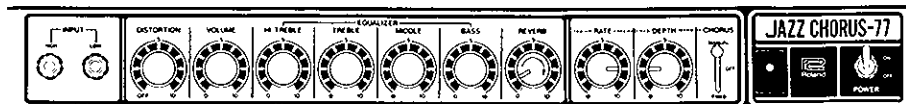


●電気ピアノ、オルガン等キーボード入力の場合

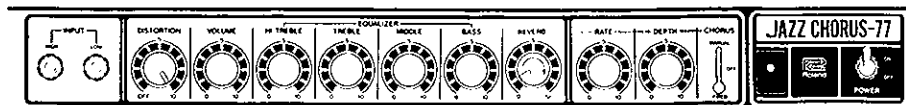


●特殊効果 (パネル図はJC-77です。JC-55にはHI-TREBLEのつまみはありません。)

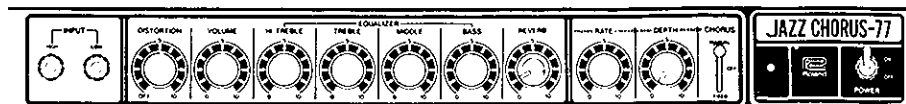
●コーラスをビブラートの効果として使用する場合



●JC独自のディストーション+コーラス・サウンド



●ショート・ディレイ・サウンド



●主な仕様

	JC-55	JC-77
出力	25W+25W	40W+40W
スピーカー	20cm×2	25cm×2
インプット・ジャック	ハイ、ロー 各1：-30dBm/1MΩ	ハイ、ロー 各1：-31dBm/1MΩ
コントロール	ボリューム トレブル ミドル ベース	ボリューム ハイ・トレブル トレブル ミドル ベース
エフェクト	ディストーション リバーブ コーラス・レイト コーラス・デプス	ディストーション リバーブ コーラス・レイト コーラス・デプス
スイッチ	コーラス切り換えスイッチ	コーラス切り換えスイッチ
ジャック	ライン・アウト 0dBm/120Ω ディストーション・フット・スイッチ リバーブ・フット・スイッチ コーラス・フット・スイッチ	ライン・アウト 0dBm/2.8kΩ ディストーション・フット・スイッチ リバーブ・フット・スイッチ コーラス・フット・スイッチ
消費電力	50W	65W
外形寸法	510(W)×400(H)×210(D)mm	キャスター取り付け時 574(W)×505(H)×260(D)mm
重量	12kg	19kg
付属品	ビニール・カバー	ビニール・カバー

●修理をご依頼になる前に

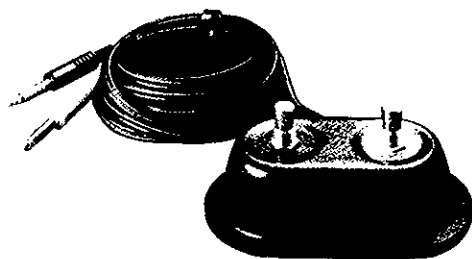
正常に動作しない場合は右表に従って処置してください。主に使いかたの誤りによる症状を示しましたが、これらの処理をしても直らない場合、または表以外の症状が出ている場合には各サービス・ステーションにご相談ください。

症状	原因	処置
電源スイッチを入れてもパイロット・ランプがつかず、音も出ない	電源コードの接続不完全	電源コードを完全に差し込む
ランプはつくが音が出ない	アンプ、またはギターのパボリュームが下がっている 接続シールド・コード不良	適度な音量まで上げる 接続シールド・コードを取り替える
音量が小さい。またディストーションのかかり具合も浅い。	ロー・ジャックに入力している	ハイ・ジャックに継ぎかえる
ディストーションがかからない	フット・スイッチが「OFF」になっている	フット・スイッチを踏み込み「ON」にする
リバーブがかからない	フット・スイッチが「OFF」になっている	フット・スイッチを踏み込み「ON」にする
コーラスがかからない レバー・スイッチをFIXEDの位置にセットした場合	フット・スイッチが「OFF」になっている	フット・スイッチを踏み込み「ON」にする
レバー・スイッチをMANUALの位置にセットした場合	フット・スイッチが「OFF」になっている デプスのボリュームが下がっている	フット・スイッチを踏み込み「ON」にする 適当な位置まで上げる
雑音、ハムが出る	接続シールド・コード不良 ジャックへのプラグ差し込み不完全 電源のアース・ライン不適合	接続シールド・コードを取り替える プラグを完全に差し込む 電源コードのプラグを逆に差し込む

●オプション



フット・スイッチ
FS-1 ¥2,000



フット・スイッチ
FS-2 ¥3,500